



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 名糖産業株式会社

コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水谷 彰宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 山崎 潔

TEL 052-521-7111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,366	△1.9	△464	—	17	—	5	—
25年3月期第2四半期	8,524	△11.4	△422	—	△166	—	△348	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,208百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1,024百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.33	—
25年3月期第2四半期	△20.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	46,761	34,273	72.8
25年3月期	45,850	33,378	72.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 34,019百万円 25年3月期 33,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	20.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.1	△200	—	300	839.4	200	317.0	11.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	21,265,000 株	25年3月期	21,265,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	4,464,395 株	25年3月期	4,462,881 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	16,801,192 株	25年3月期2Q	16,810,208 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却と経済再生を目指した国の経済政策や円安などにより、輸出関連企業を中心に企業の景況感が上向き、景気回復の動きがみられました。しかし、高額品などに対する消費者マインドが持ち直し傾向にある一方で、素材価格の上昇や海外景気の動向など、企業を取り巻く環境には、依然として懸念材料が残りました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、消費者の根強い節約志向により企業間の低価格競争が激化するなかで、円安による原材料価格やエネルギーコストの上昇などが収益を圧迫して、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上のため品質管理体制の強化に引き続き注力するとともに、お客様の要望にお応えできる高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を推し進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて1.9%減の8,366百万円となりました。営業損益につきましては、事業活動の効率化やコストの削減に努めましたが、売上高の減少などにより464百万円の損失となりました。前年同期は422百万円の営業損失でありました。また、経常利益は営業外収益の増加などにより17百万円となりました。前年同期は166百万円の経常損失でありました。これらの結果、四半期純利益につきましては5百万円となりました。前年同期は348百万円の純損失でありました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力の菓子部門は消費者の嗜好品に対する節約志向が根強く、厳しい企業間競争が加速して減収となりました。チョコレート類は、主力の「アルファベットチョコレート」は売上を伸ばしましたが、PB（プライベートブランド）商品が前年同期を下回り、減収となりました。また、キャンディ類の売上も減少しました。

粉末飲料部門は、企業間の販売競争が激化するなかで、主力の「レモンティー」や「ロイヤルミルクティー」などが苦戦を強いられ、減収となりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、新商品を投入して売上の拡大を図りましたが、減収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、需要を喚起するための積極的な商品提案や販売施策に取り組みました結果、ゼリー類は好調に推移しましたが、主力のパウムクーヘン類が苦戦して減収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ3.7%減の7,175百万円となりました。営業損益につきましては、売上高の減少や売上原価率の上昇などにより、192百万円の損失となりました。前年同期は93百万円の営業損失でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては海外を主な市場としており、円安の追い風を受けるなか、販路拡大を目指した提案や精力的な営業活動を展開しました結果、チーズ用凝乳酵素「レンネット」および脂肪分解酵素「リパーゼ」はともに増収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」や、MRI（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾピスト』の原薬である「フェルカルボトラン」の減少が影響し、減収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ14.5%増の1,036百万円となりましたが、営業損益につきましては、減価償却費の負担や販売品目構成の影響などにより30百万円の損失となりました。前年同期は85百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、昨年12月に持分法適用会社との工場の賃貸契約が終了したことなどにより、売上高は前年同期に比べ7.6%減の155百万円となり、営業利益は前年同期に比べ10.6%減の61百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ288百万円減少し、9,580百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が806百万円減少したことや、有価証券が546百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,200百万円増加し、37,181百万円となりました。これは、保有する株式の株価の上昇などにより投資有価証券が1,421百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ911百万円増加し、46,761百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ173百万円減少し、5,068百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が417百万円増加したことや、その他に含まれる短期借入金が580百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ189百万円増加し、7,418百万円となりました。これは、長期借入金が457百万円減少したことや、繰延税金負債が637百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ16百万円増加し、12,487百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ895百万円増加し、34,273百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が1,203百万円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ374百万円減少し、2,113百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ1百万円増加し、1,045百万円となりました。資金の主な増加要因は、売上債権の減少額806百万円および減価償却費670百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加額463百万円であります。投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ76百万円減少し、20百万円となりました。資金の主な増加要因は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入794百万円および定期預金の払戻による収入200百万円であり、主な減少要因は、有価証券及び投資有価証券の取得による支出730百万円および有形固定資産の取得による支出278百万円であります。また、財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ88百万円減少し、1,400百万円となりました。資金の主な減少要因は、短期借入金の純減額580百万円、長期借入金の返済による支出457百万円および配当金の支払額334百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、食品事業の出荷が秋季から冬季に膨らむ傾向が強く、例年、上半期の業績は下半期に比べ相対的に低い水準となる傾向が強いこともあり、当第2四半期累計期間は、概ね当初の想定した範囲内で推移しております。現時点では通期の連結業績予想につきまして、平成25年5月14日に公表いたしました数値を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,821	2,246
受取手形及び売掛金	4,062	3,256
有価証券	785	1,332
商品及び製品	880	1,116
仕掛品	354	320
原材料及び貯蔵品	709	971
その他	274	344
貸倒引当金	△20	△7
流動資産合計	9,868	9,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,054	4,944
その他(純額)	7,065	6,965
有形固定資産合計	12,120	11,910
無形固定資産		
	81	71
投資その他の資産		
投資有価証券	23,374	24,796
その他	478	477
貸倒引当金	△73	△74
投資その他の資産合計	23,779	25,199
固定資産合計	35,981	37,181
資産合計	45,850	46,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,872	2,290
1年内返済予定の長期借入金	914	914
未払法人税等	27	10
返品調整引当金	7	3
その他	2,419	1,849
流動負債合計	5,242	5,068
固定負債		
長期借入金	1,922	1,464
繰延税金負債	2,784	3,422
退職給付引当金	2,139	2,196
役員退職慰労引当金	16	13
その他	365	321
固定負債合計	7,229	7,418
負債合計	12,471	12,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	33,662	33,331
自己株式	△8,544	△8,545
株主資本合計	26,507	26,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,640	7,843
その他の包括利益累計額合計	6,640	7,843
新株予約権	230	254
純資産合計	33,378	34,273
負債純資産合計	45,850	46,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,524	8,366
売上原価	6,201	6,109
売上総利益	2,323	2,257
販売費及び一般管理費		
販売促進費	910	901
給料手当及び賞与	753	736
退職給付費用	42	93
役員退職慰労引当金繰入額	3	2
貸倒引当金繰入額	0	—
減価償却費	37	30
その他	998	957
販売費及び一般管理費合計	2,745	2,722
営業損失(△)	△422	△464
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	250	253
有価証券売却益	1	111
持分法による投資利益	37	98
その他	25	43
営業外収益合計	327	519
営業外費用		
支払利息	20	14
固定資産除売却損	21	21
その他	29	1
営業外費用合計	70	37
経常利益又は経常損失(△)	△166	17
特別利益		
投資有価証券売却益	20	—
特別利益合計	20	—
特別損失		
投資有価証券評価損	307	46
製品回収廃棄損	—	10
特別損失合計	307	56
税金等調整前四半期純損失(△)	△453	△39
法人税、住民税及び事業税	5	4
法人税等調整額	△110	△49
法人税等合計	△105	△45
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△348	5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△348	5

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△348	5
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△676	1,203
その他の包括利益合計	△676	1,203
四半期包括利益	△1,024	1,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,024	1,208

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△453	△39
減価償却費	726	670
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△18	53
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△12
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△15	△111
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	307	46
有形固定資産除売却損益(△は益)	16	21
受取利息及び受取配当金	△262	△265
支払利息	20	14
持分法による投資損益(△は益)	△37	△98
売上債権の増減額(△は増加)	1,134	806
たな卸資産の増減額(△は増加)	△614	△463
仕入債務の増減額(△は減少)	238	417
その他	△141	△228
小計	899	808
利息及び配当金の受取額	263	262
利息の支払額	△20	△14
法人税等の支払額	△98	△11
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,043	1,045
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△400	△730
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	378	794
定期預金の預入による支出	△200	—
定期預金の払戻による収入	300	200
有形固定資産の取得による支出	△170	△278
その他	△4	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△670	△580
長期借入金の返済による支出	△457	△457
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△334	△334
その他	△26	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,488	△1,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△541	△374
現金及び現金同等物の期首残高	2,051	2,488
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,510	2,113

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,451	905	168	8,524	—	8,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,451	905	168	8,524	—	8,524
セグメント利益又は損失(△)	△93	△85	68	△111	△311	△422

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,175	1,036	155	8,366	—	8,366
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,175	1,036	155	8,366	—	8,366
セグメント利益又は損失(△)	△192	△30	61	△161	△303	△464

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(別紙)

名糖産業株式会社

平成26年3月期第2四半期決算参考資料

(金額単位：百万円、百万円未満切捨)

1. 第2四半期連結累計期間(中間期)の実績推移
(連結)

	21/9月	22/9月	23/9月	24/9月	25/9月
売上高	9,858	9,670	9,626	8,524	8,366
営業利益	301	189	△22	△422	△464
経常利益	576	558	259	△166	17
四半期純利益	460	276	36	△348	5

2. 通期の実績推移と業績予想
(連結)

	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期予想
売上高	22,605	22,088	21,069	19,216	20,000
営業利益	1,294	564	126	△192	△200
経常利益	1,777	1,096	624	31	300
当期純利益	1,226	708	377	47	200

3. 事業別売上高予想
(連結)

	26/3期予想	増減率	25/3期
食品	17,500	3.5%	16,914
化成品	2,180	9.9%	1,984
不動産	320	0.8%	317
合計	20,000	4.1%	19,216

4. 営業外損益の内訳(実績)
(連結)

	第2四半期連結累計期間		通期
	25/9月	24/9月	25/3期
営業外収益	519	327	538
受取利息及び配当金	265	262	430
持分法による投資利益	98	37	-
その他の営業外収益	154	26	107
営業外費用	37	70	313
支払利息	14	20	37
持分法による投資損失	-	-	210
その他の営業外費用	22	50	65